

2018. 12. 31.

山口県子ども読書支援センター（山口県立山口図書館）発行

TEL083-924-2111 FAX083-932-2817 <http://library.pref.yamaguchi.lg.jp>

## ★メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！

メールマガジン「本はともだち」は、新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

### 【山口県子ども読書支援センター行事】

#### ★幼児のためのおはなし会

○日時：平成31年1月8日（火）11：00～11：20 ○会場：山口県立山口図書館 ○対象：幼児

《12月のおはなし会で使った本》

『ぶたたぬききつねねこ』 馬場のぼる/著 こぐま社 1978

『まどから★おくりもの』 五味太郎/作・絵 偕成社 1983

『100にんのサンタクロース』 谷口智則/作・絵 文溪堂 2018

『ろうそくぱっ』 みなみじゅんこ/作 アリス館 2017

◎申込み、連絡先：山口県子ども読書支援センター（電話：083-924-2111 FAX：083-932-2817 Eメール：a50401@pref.yamaguchi.lg.jp）

#### ★子どもと本をつなぐ山口読書ネットワークフォーラム in 下関

○日時：平成31年1月26日（土） ○会場：下関市生涯学習プラザ 2階 ○参加費：無料

○申込み：不要、当日先着順 ○対象：小学生以上

○内容

【ブックトーク】「にぎやかブックトーク」10：00～10：40 講師：横山 眞佐子氏（児童書専門店店主）定員：100人

【ワークショップ】「体験してみよう！『読みあい』ワークショップ」10：50～12：20 講師：横山眞佐子氏定員：40人

【トークセッション】「なぜ？みんなゾロリがだ～いすき！」13：30～14：30 出演：原 ゆたか氏（児童文学作家）

横山 眞佐子氏 定員：200人

【かいけつゾロリルーム】「かいけつゾロリぬりえコーナー、図書展示コーナー、書籍販売コーナー」10：00～12：00

【サイン会】第1部10：00～12：00 30人第2部15：00～18：00 60人※当日、会場で書籍購入された方に整理券を渡します。

【展示】「子どもと本をつなぐ下関のひとたち」10：00～16：00

◎問い合わせ先：下関市教育委員会 図書館政策課（TEL：083-233-1172 FAX：083-233-1173）

### 【新刊紹介】 価格は消費税抜き

#### <絵本-乳幼児から>

『語りかけ絵本 どんぐり』 こがようこ/ぶん・え 大日本図書 2018.10 ¥1000

小さくて、可愛い「どんぐり」は、子どもたちの人気者。そのどんぐりが、コロコロとこころがったり、ストンと落ちてきたり。思わず触りたくなる絵と、どんぐりのかわいさ 様子や擬音が、乳幼児にぴったり。「子どもに絵本を読んであげたいけど、どう読めばいいのかわからない」という新米の親を応援するためにつくられた絵本シリーズの3冊目。秋の読み聞かせにも向く。

#### <絵本-3, 4歳から>

『かどこいった?』 鈴木のりたけ/作・絵 小学館 2018.11 ¥1200

あ、手に力がとまった！しずかにしずかに、「パーン！」あ、逃げられちゃった。どこいった？今度は積み木の上だ、今度こそ、せーの「ガッチャーン！！」あーあ、またしても逃げられた。今度はどこ行った？ん？ケーキの上？パチンと音をたてて声を出しながら読んでいくと楽しさ倍増。ページをめくるとに驚きの展開が待っているユーモアたっぷりのボードブック。

#### <絵本-5, 6歳から>

『せん』 スージー・リー/作 岩波書店 2018.10 ¥1800

白い紙の上に鉛筆でスーッとひかれた一本の「せん」。その「せん」は、赤いぼうしをかぶった少女のスケート靴につながって、氷上の伸びやかな軌跡になった。少女のスケートにあわせて、白い氷の上には踊るような「せん」がたくさん描かれる。少女が軽やかにジャンプすると…。韓国を代表する絵本作家スージー・リーによる、画面の余白が美しい、文字のない絵本。

#### <絵本-小学校低学年から>

『星のひとみ』 せなけいこ/絵 石井睦美/文 サカリアス・トペリウス/原作 KADOKAWA 2018.11 ¥1300

クリスマスの前の晩、雪原を走るそりから落ちたサーミ人の赤ん坊。彼女の汚れのないひとみには、天上の星のひかりが宿った。運良く農夫に拾われた赤ん坊は、「星のひとみ」と呼ばれて、農夫の家で育てられる。だが、成長するにつれて不思議な力を発揮する彼女は、育ての母に疎まれるようになり…。「フィンランドのアンデルセン」とよばれるトペリウスの代表作の絵本化。

#### <絵本-小学校中学年から>

『ぼくのたび』 みやこしあきこ/作 ブロンズ新社 2018.11 ¥1500

ぼくが営むちいさなホテルには、世界中からたくさんのお客さんがおとずれる。ぼくは知らない国の話を聞き、ぼくのまちについて話す。世界中から届くお客さんからの手紙が、ぼくを旅へとかきたてる。そしてまだ見ぬ世界へ想いをはせる。「ぼくはまだ このちいさなまちしか しらない。だけど…」テーマは「旅」。世界的に高い評価を得る実力派作家によるリトグラフの美しい絵本。

#### <絵本-小学校高学年から>

『ふたりママの家で』 パトリシア・ポラッコ/絵・文 中川亜紀子/訳 サウザンブックス社 2018.10 ¥2300

私たち3人きょうだいには、ママがふたりいる。同性カップルのママたちは、私や弟のウィル、さらには妹のミリーの3人を、赤ん坊の時から養子に迎え、愛情深く育ててくれた。私たち家族には血縁はないし、人種も違う。でも、みんな家族が大好きで、近所の人たちとも仲良しで、幸せだ。同性カップル、養子など、多様な家族のあり方をあたたかく描いたアメリカの絵本。

#### <読み物—低学年から>

『つきーとカーコのけんか』 おくはらゆめ/作 佼成出版社 2018.11 ¥1200

猫のつきーとからすのカーコ。赤ちゃんのころからご近所で、気づいたらいつも一緒にいる二人。どんぐり拾いをしても、こたつに入っても、神社にお参りしても、いつもけんかしてしまうけど、100回けんかしても100回仲直りできるから、心配ないよ。お互いのことを思いやり、素直になれる二人にほっとするお話が4編。「おはなしみつけた」シリーズ。

#### <読み物—中学年から>

『ハートウッドホテル1 ねずみのモナと秘密のドア』 ケイリー・ジョージ/作 久保陽子/訳 高橋和枝/絵 童心社 2018.10 ¥1300

大嵐の夜、高級ホテル「ハートウッドホテル」のドアを開けたネズミのモナ。両親も家も無くなったモナは、そこで見習いメイドとして働かせてもらうことに。先輩メイドにつらく当たられたり、お客との触れ合いを楽しんだりしながら、成長していくモナ。ある日、ホテルのオーナーから、モナの両親とホテルとの繋がりを聞かされる。欧米で話題のファンタジー。シリーズ第1弾。

#### <読み物—高学年から>

『ガラスの梨 ちいやんの戦争』 越水利江子/作 牧野千穂/絵 ポプラ社 2018.7 ¥1500

大阪で温かい家族に囲まれ、幸せに暮らしていた小3の笑生子。昭和16年12月に開戦、国内情勢は厳しくなっていく中で、笑生子は兄から買ってもらったままと道具のガラス製の梨を大事にしていた。その後、兄は召集後戦死、残された家族も戦火に脅かされていく。著者の母親をモデルに、戦争の悲劇だけでなく、家族のきずな、人間のたくましさを描いた作品。

#### <読み物—中学生から>

『ヴァンダーカンマー ここは魅惑の博物館』 櫻崎茜/著 理論社 2018.11 ¥1400

漁港でもらった検体用の深海魚の生態を知り、感動した自分に驚く「俺」。フライドチキンから鶏の骨組みを還元しようとする標本士に魅力を感じた「あたし」。全く興味がなかった博物館で職場体験をすることになった男女5人の中学生が微妙に関わり合いながら、魅惑の宝庫(ヴァンダーカンマー)で過ごした一日をそれぞれの視点から描く。博物館を取材した作品の3作目。

『その年、わたしは嘘をおぼえた』 ローレン・ウォーク/作 中井はるの、中井川玲子/訳 さ・え・ら書房 2018.10 ¥1700

戦争で全米が大混乱に陥った1943年、農場を営む誠実な家庭に育ったわたしの前に、黒い心を持つ少女・ベティが現れた。わたしを脅し、わたしの大事な人々を傷つけ、畏にかけ、陥れていく。11歳の少女が知恵と勇気を振り絞って、真実を明らかにすべく彼女に立ち向かうが…。平気で嘘をつくベティに対し、苦しみながらも信念に基づいて嘘をつく少女の心情を細やかに描く。

#### <ノンフィクション—小学校低学年から>

『防災・防犯シミュレーション 大地震そのときどうする?』 国崎信江/監修 ほるぷ出版 2018.10 ¥3000

「大地震発生!まずはどうする?」「揺れがおさまった。この時やっつけられない行動は?」「トイレが使えない。どうしたらいい?」マンガの主人公と一緒に、様々な危機をどのように乗り越えていけばよいか、自分で考え、シミュレーションしながら自然災害や身近な危険について学ぶシリーズ。他に『気象災害そのときどうする?』『見近な危険そのときどうする?』の全3巻。

『どんどん!どんぐり工作 ①こま・やじろべえ・マラカスほか』 まるばやしさわこ/作 汐文社 2018.11 ¥2500

こまややじろべえ、けん玉などの伝承遊び道具の他、太鼓等の楽器、指人形やごっこ遊びの用具等の作り方やアイデアを、写真で分かりやすく解説。工作前の、拾ってきたどんぐりの処理の仕方や、工作に使うと便利な道具の紹介など、参考になる情報を掲載。他に『めいろ・トントンずもうほか』『アクセサリー・クリスマスリースほか』の全3巻。低学年の生活科で活用できる。

#### <ノンフィクション—小学校中学年から>

『福祉でがんばる!盲導犬・聴導犬・介助犬』 こどもくらぶ/編 あすなろ書房 2018.11 ¥3000

働く犬の中でも、補助犬と位置づけられている、盲導犬、聴導犬、介助犬。その補助犬たちの歴史や、仕事の内容、訓練士をはじめとする、犬の成長に関わる人たちとの様子を、多数の写真とともに紹介。「新・はたらく犬とかわる人たち」シリーズ。他に、『捜査・探査でかっやく!警察犬・災害救助犬・探知犬』『はたらく犬と訓練士・ボランティア』の全3巻。

#### <ノンフィクション—小学校高学年から>

『シリーズ見てみよう・考えよう!子ども大学 ①身近な生活のギモン』 子ども大学かわごえ/監修 こどもくらぶ/編 フレーベル館 2018.10 ¥2800

2008年、埼玉県川越市に日本で初めてNPO法人として設立され、小学4年生から6年生を対象に、大学レベルの専門的な授業を展開。保護者と子どもと一緒に授業に参加するという「子ども大学かわごえ」。そこで、2009年度から2016年度に行われた授業や行事をもとに編集された作品。『②あたりまえを見直すギモン』『③答えの出しにくいギモン』の全3巻。

#### <ノンフィクション—中学生から>

『僕たちは、宇宙のことぜんぜんわからない この世で一番おもしろい宇宙入門』 ジョージ・チャム、ダニエル・ホワイトソン/著 水谷淳/訳 ダイヤモンド社 2018.11 ¥1800

空間が膨張するイメージを「空間ネバネバ」の中に座っている人になって考えたり、ビッグバンで何がわかっていないのかを、電子レンジでチンした蒸しパンで説明したり…。アメリカの物理学の専門家とマンガ家がコラボして、急速に進む宇宙への理解とまだ解明されない宇宙の謎について、イラストを交えてユーモラスに解説。多くの謎が残っていることにワクワクする宇宙入門書。

#### <研究書>

『よみかかせのきほん 保育園・幼稚園・学校での実践ガイド』 東京子ども図書館/編集 東京子ども図書館 2018.10 ¥750

ベテランの児童図書館員が選り抜いた、集団の子どもたちへの読み聞かせに向く304冊を、対象年齢だけでなく、ジャンルや所要時間等も示して紹介する。読み聞かせを行う際の心構えや、読み方のポイントを初心者にも分かりやすく解説。プログラム例や件名索引付きで、手元に置いておくと役立つ1冊。『ブックトークのきほん』に続く「TCLブックレット」第二弾。